

第一貨物 ■ 運転技能競技大会

第一貨物(武藤幸規社長、

山形市)は7月29、30の両日、山形県天童市の中央研修所で「運転技能競技大会」を開いた。全国6支社の10チーム30人と関係会社9社から9人がオブザーバーとして参加した。

プロドライバーとしての社会的責任を深く自覚し、法令順守と安全意識の高揚

責任を自覚し 事故ゼロ期す

を図ると共に事故の絶無を期す—のが目的で、こととして53回目となる。

開会式は30日に開かれ、武藤社長が「事故ゼロを達成するには、皆さん一人ひとりの自覚に負うことが大きい。運転は外での一人仕事。誰も指示してくれない。プロとして安全安心な輸送に努めるべき。日頃、磨いた技能を遺憾なく発揮してほしい」と挨拶。

山形運輸支局の松田憲幸支局長らの祝辞に続き、出場選手を代表して、武田幸広氏(仙台B)が力強く選手宣誓を行った。

競技はトラックとフォークリフトの2部門で実施。トラックは大型、4トン、2トンに分かれ、学科と運転実技、日常点検で実施。学科は29日に、実技競技は翌日に行われた。

フォークリフトは1チームから1人が出場し、30日に運転実技のみで競った。

(黒田 秀男)

武藤社長(右)を前に選手宣誓を行う武田選手

